

平成 30 年 度

# 若 手 教 員 研 修

( 2 年 目 研 修 )

## 研 修 の 手 引 き

### 福 井 県 教 育 委 員 会

勤務校	職名
氏名	

## 目 次

1	実施要項	1
2	教育実践研究	3
3	申込みの必要な研修	4
4	ボランティア活動	4
5	提出書類等	5
6	研修についての問い合わせ先	6
	共通様式1【欠席届】	7
	共通様式2【一部延期願】	7
	共通様式3【改姓届】	7
	様式1【授業実践研究の概要】	8
	様式2【授業実践研究の（中間まとめ・まとめ）】	8
	様式3【通信型研修受講レポート】	9
	様式4【ボランティア活動計画書】	9
●	2年目研修提出物等一覧	10

# 1 実施要項

## 1 目的

採用2年目の教員に対して、当面する教育的課題への対応と実践的指導力の向上に関する研修を行い、教員としての資質と能力の向上を目的とする。

## 2 実施主体

福井県教育委員会

## 3 実施期間

実施期間は平成30年度の1年間とする。

## 4 対象者

- (1) 平成29年度に採用された小学校、中学校、高等学校および特別支援学校の教員で、初任者研修を受講した者とする。ただし、養護教諭および栄養教諭は除く。
- (2) 該当年度内に産休、育休等の休暇(休業)に入ることが明らかな場合は、原則として休暇(休業)明けの次年度に受講すること。なお、受講年度途中で休暇(休業)等に入ることになった場合は、受講可能な研修を受講し、残りは休暇(休業)明けに受講する。ただし、時期によっては翌年度以降の受講となる。

## 5 実施計画

### 【小学校】

コード№	研修名	研修内容	実施日時・会場		備考
	***	研修ガイダンス			
211	教科指導	授業実践研究Ⅰ (授業実践研究の意義)	嶺北 4月24日(火) 9:30~16:00 教育総合研究所	嶺南 4月25日(水) 9:30~16:00 嶺南教育事務所	
221	生徒指導	学級経営(生徒理解) ・事前に、通信型研修「G202 学級づくりシリーズⅡ」を視聴			
213	教科指導	教科別研修Ⅱ 研究所の書音図家から1講座	各自選択		
212	教科指導	授業実践研究Ⅱ (授業実践研究の深め方)	嶺北 9月20日(木) 9:30~16:00 教育総合研究所	嶺南 9月21日(金) 9:30~16:00 嶺南教育事務所	
254	情報教育	ICT機器の活用			
261a	教育実践研究	実践研究の共有 (初任者・2年目・3年目のクロスセッション)	11月8日(木) 15日(木) 29日(木) 13:30~16:30 教育総合研究所	11月22日(木) 13:30~16:30 嶺南教育事務所	実施日は4択 別途通知
G103	通信型研修	授業力アップを目指すアクティブ・ラーニング講座【入門編】	レポートは、嶺北9月20日(木)、嶺南21日(金)の研修時に提出		
291	ボランティア	ボランティア活動	各自		

## 【中学校】

コードNo	研修名	研修内容	実施日時・会場		備考
	***	研修ガイダンス			
211	教科指導	授業実践研究Ⅰ (授業実践研究の意義)	嶺北 4月24日(火) 9:30~16:00 教育総合研究所	嶺南 4月25日(水) 9:30~16:00 嶺南教育事務所	
221	生徒指導	学級経営(生徒理解) ・事前に、通信型研修「G202学級づくりシリーズⅡ」を視聴			
214	教科指導	主体的・対話的で深い学びの指導と評価(パフォーマンス評価など)	8月20日(月) 9:30~16:00 教育総合研究所		
212	教科指導	授業実践研究Ⅱ (授業実践研究の深め方)	嶺北 9月20日(木) 9:30~16:00 教育総合研究所	嶺南 9月21日(金) 9:30~16:00 嶺南教育事務所	
254	情報教育	I C T機器の活用			
261a	教育実践研究	実践研究の共有 (初任者・2年目・3年目のクロスセッション)	11月8日(木) 15日(木) 29日(木) 13:30~16:30 教育総合研究所	11月22日(木) 13:30~16:30 嶺南教育事務所	実施日は 4択 別途通知
G103	通信型研修	授業力アップを目指すアクティブ・ラーニング講座【入門編】	レポートは、嶺北9月20日(木)、嶺南21日(金)の研修時に提出		
291	ボランティア	ボランティア活動	各自		

## 【高等学校】

コードNo	研修名	研修内容	実施日時・会場		備考
	***	研修ガイダンス			
211	教科指導	授業実践研究Ⅰ (授業実践研究の意義)	4月24日(火) 9:30~16:00 教育総合研究所		
221	生徒指導・ 進路指導等	学級経営(生徒理解) ・事前に、通信型研修「G202学級づくりシリーズⅡ」を視聴			
214	教科指導	主体的・対話的で深い学びの指導と評価(パフォーマンス評価など)	8月20日(月) 9:30~16:00 教育総合研究所		
212	教科指導	授業実践研究Ⅱ (授業実践研究の深め方)	9月20日(木) 9:30~16:00 教育総合研究所		
254	情報教育	I C T機器の活用			
261a	教育実践研究	実践研究の共有 (初任者・2年目・3年目のクロスセッション)	11月8日(木) 15日(木) 29日(木) 13:30~16:30 教育総合研究所	11月22日(木) 13:30~16:30 嶺南教育事務所	実施日は 4択 別途通知
G103	通信型研修	授業力アップを目指すアクティブ・ラーニング講座【入門編】	レポートは、9月20日(木)の研修時に提出		
291	ボランティア	ボランティア活動	各自		

【特別支援学校】

コードNo.	研修名	研修内容	実施日時・会場		備考
	***	研修ガイダンス			
211	教科指導	授業実践研究Ⅰ (授業実践研究の意義)	4月24日(火) 9:30~16:00 教育総合研究所		
221	生徒指導・ 進路指導等	学級経営(生徒理解) ・事前に、通信型研修「G202学級づくりシリーズⅡ」を視聴			
282	特別支援教育	特別支援教育研修(特別支援教育センター主催の研修講座から1講座)	各自選択		
281	特別支援教育	授業実践研究の中間報告会	9月20日(木) 9:30~16:00 教育総合研究所		
254	情報教育	I C T機器の活用			
261a	教育実践研究	実践研究の共有 (初任者・2年目・3年目のクロスセッション)	11月8日(木) 15日(木) 29日(木) 13:30~16:30 特別支援教育センター	11月22日(木) 13:30~16:30 嶺南教育事務所	実施日は 4択 別途通知
G103	通信型研修	授業力アップを目指すアクティブ・ラーニング講座【入門編】	レポートは、9月20日(木)の研修時に提出		
291	ボランティア	ボランティア活動	各自		

## 6 研修の手引きについて

2年目研修の手引きは教育総合研究所 HP 各種様式から各自がダウンロードする。

## 2 教育実践研究

授業力向上のためには、実践と省察を継続して行う必要がある。そこで、2年目研修では初任時での成果と課題をふまえ、各自が「主体的・対話的で深い学び」の視点を取り入れたテーマで授業実践研究に取り組むことを、研修の中心とする。

### 1 授業実践研究の進め方

授業実践を記録することにより、指導の妥当性や課題を検討することができる。それをもとに授業の改善を繰り返すことで、教員の力量は高められていく。こうした年間を通した取組みが、3年目研修の授業実践研究につながり、学び続ける教員の土台となる。

まずは4月の研修「授業実践研究の意義と方法」で、各自が授業実践研究のテーマ(案)を持ち寄り、グループ協議を経て研究のねらいを明確にする。その上で、授業実践の概要を完成させる。

各学校での実践では、児童・生徒の発言や行動などの事実や、それに対する教員の対応等を記録し、省察を行う。このサイクルを繰り返し、9月の「授業実践研究の深め方」においても、講義やグループ協議を通して深めていく。

11月のクロスセッションで発表した後も実践を続け、授業実践研究のまとめを仕上げる。この年間通しての取組みの成果と課題を、3年目の実践につなげることになる。

## 2 クロスセッション

1年目研修者、2年目研修者、3年目研修者がそれぞれの実践を持ち寄り、校種や教科を同じくする小グループを編成し、それぞれの記録を読み解く場である。単なる発表会でなく、語りと傾聴により、互いの実践の意義や課題を明確にして共有しながら学ぶ機会である。

- ・会場（校種）と実施日（4日間のうち1日を選択）

コードNo.	会場（校種）	実施日
261a	教育総合研究所（小中高） 特別支援教育センター（特）	11月8日（木）、11月15日（木）、11月29日（木）
	嶺南教育事務所（小中高特）	11月22日（木）

- ・実施日の希望調査と決定通知

対象者は、第1希望日、第2希望日を5月18日（金）までにメールで報告する。参加決定日は、研究所から各自に文書で通知する。

- ・報告先 E-mail [wakate2@fec.fukui-c.ed.jp](mailto:wakate2@fec.fukui-c.ed.jp)（2年目研修専用アドレス）

- ・報告方法 標題に「勤務校と氏名」を書く

本文に「第1希望11月〇日、会場〇〇、第2希望11月〇日、会場〇〇」と書き、  
その他要望がある場合は書き加える。

## 3 申込みの必要な研修

【小学校】コードNo. 213 教科別研修Ⅱは、教育総合研究所が主催する書写、音楽、図工、家庭の4つの講座から1講座を選択し、各自で申し込み受講する。

【特別支援学校】コードNo. 282 特別支援教育研修は、特別支援教育センターが主催する講座から1講座を選択し、各自で申し込み受講する。

## 4 ボランティア活動

### 1 目的

教職以外の様々なボランティア活動を行うことにより、視野の拡大と多様なものの見方や考え方を身に付け、新しい発想や視点を各校の活性化や特色ある教育活動に生かす能力を高め、教員としての資質の向上を図ることを目的とする。

### 2 実施期間および日数

期間は年度内（なるべく冬期休業終了まで）とし、日数は1日（3時間以上）とする。年度末の校外研修記録・報告書と押印簿の提出に間に合うように、計画実施すること。

### 3 活動実施施設・機関・団体・企業（以下「活動先」という）の選定、依頼と、ボランティア活動の手順

#### (1) 活動先の選定について（選定は各学校で行う）

- ①教員の活動先として、体験内容や活動時間などが、目的に照らして適切であること。
- ②活動の目的を理解し、積極的に取り組んでいただけること。
- ③活動先の場所は、旅費の節約のためにも勤務校の近隣が好ましい。

## (2) ボランティア活動の手順

- ①対象者は管理職と相談の上、活動先と連絡をとり、趣旨説明と受け入れの打診をする。その際、期日は学校行事や研修と重ならないよう注意する。活動期日と内容を決めて「ボランティア活動計画書」（様式4）を作成（印は押さない状態）する。
- ②活動先へ出向いて、挨拶と活動についての確認を行い、計画書に担当者の印をもらう。
- ③計画書に対象者が押印後、学校長印を押したものを、教育総合研究所長あてに1部提出する。
- ④活動先へ、依頼文書（各学校の様式）を送る。
- ⑤ボランティア活動を実施する。
- ⑥活動後は、手引きの「校外研修の記録・報告書」に記入して復命し、押印簿に校長印をもらう。  
活動先への礼状は、学校裁量とする。

## 5 提出書類等

### 1 校長が作成するもの

「欠席届」（共通様式1）、「一部延期願」（共通様式2）、「改姓届」（共通様式3）  
様式に準じて作成し、p.6の3提出経路に従って提出する。

### 2 対象者が作成するもの

#### (1) 「授業実践研究の概要」（様式1）

コードNo.211の研修（4/24(火)、25(水)）では、授業実践研修の概要(案)を8部持参する。  
平成30年5月18日(金)までに、次のとおり提出する。

- ・小・中・高等学校は、教育総合研究所長あて1部直接提出する。
- ・特別支援学校は、別途指示あり。

#### (2) 「授業実践研究の中間まとめ」（様式2）

- ・A4判3ページ程度にまとめ、平成30年8月24日(金)までに、小・中・高等学校は教育総合研究所長あて、2部直接提出する。
- ・コードNo.212「教育実践研究Ⅱ」とコードNo.261a「実践研究の共有」では、中間まとめを利用して協議をするため、当日8部持参する。なお、中間まとめには、実践や省察を適宜書き加えて持参することが望ましい。
- ・特別支援学校は、別途指示あり。

#### (3) 「授業実践研究のまとめ」（様式2）

- ・小・中・高等学校は、平成31年2月1日(金)までに、教育総合研究所長あて1部直接提出する。
- ・特別支援学校は、別途指示あり。

#### (4) 「通信型研修受講レポート」（様式3）

・G103「授業力アップを目指すアクティブ・ラーニング講座」を視聴し、レポートを作成する。9月20日(木)または21(金)の研修受付で、封筒に入れずに1部提出する。

#### (5) 「ボランティア活動計画書」（様式4）

- ・p.4～5の4を参照し、教育総合研究所長あて1部直接提出する。

#### (6) 押印簿（コピー）、校外研修の記録・報告書（コピー）

・p.6の3提出経路に従って提出する。当該市町教育委員会、特別支援教育センターへの締切は平成31年3月1日(金)、教育総合研究所への締切は3月8日(金)である。

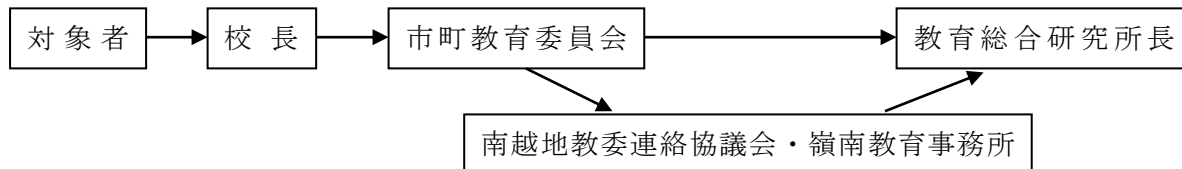
### 3 提出経路

(書類提出の際は、封筒に「2年目研修〇〇〇〇在中」と朱書きする)

#### ○ 公立小・中学校

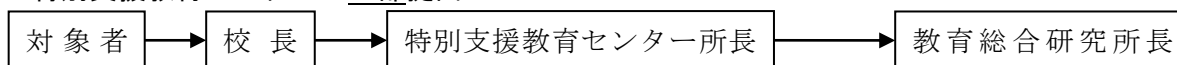
\* 嶺北の市町(池田町・南越前町を除く)は市町教育委員会に2部提出

\* 池田町・南越前町および嶺南の市町は市町教育委員会に3部提出



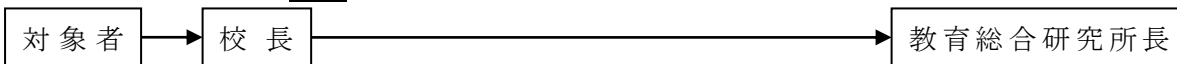
#### ○ 特別支援学校

\* 特別支援教育センターに2部提出



#### ○ 県立学校・その他

\* 教育総合研究所長に1部提出



## 6 研修についての問い合わせ先

#### ○ 福井県教育総合研究所 教職研修センター

〒919-0461 坂井市春江町江留上緑 8-1 TEL(0776)58-2160 FAX(0776)58-2161

2年目研修専用メールアドレス E-mail wakate2@fec.fukui-c.ed.jp  
\* 件名(標題)に、勤務校と氏名を入れて送る

#### ○ 福井県特別支援教育センター

〒910-0846 福井市四ツ井 2-8-1 TEL(0776)53-6574 FAX(0776)52-6272

#### ○ 福井県教育庁嶺南教育事務所

〒917-0241 小浜市遠敷 2丁目 205 TEL(0770)56-1302 FAX(0770)56-1391



### 共通様式 1 【欠席届】

福井県教育総合研究所長 様	平成○年○月○日
	○ ○ ○ 学 校 校長 ○ ○ ○ ○ 印
平成 30 年度 2 年目研修 欠席届	
このことについて、下記のとおり提出いたします。	
記	
1 対象者の職員番号	○○○○○○○
2 対象者の職名・氏名	○○・○○○○○
3 欠席する研修	研修期日・コードNo.・研修名 (代替研修 研修期日・コードNo.・研修名)
4 欠席理由	○○○○

### 共通様式 2 【一部延期願】

福井県教育総合研究所長 様	平成○年○月○日
	○ ○ ○ 学 校 校長 ○ ○ ○ ○ 印
平成 30 年度 2 年目研修 一部延期願	
このことについて、下記のとおり提出いたします。	
記	
1 対象者の職員番号	○○○○○○○
2 対象者の職名・氏名	○○・○○○○○
3 延期する研修	コードNo.・研修名
4 延期する理由	産休・育休の場合は、期間も記入

### 共通様式 3 【改姓届】

福井県教育総合研究所長 様	平成○年○月○日
	○ ○ ○ 学 校 校長 ○ ○ ○ ○ 印
平成 30 年度 2 年目研修 改姓届	
このことについて、下記のとおり提出いたします。	
記	
1 対象者の職員番号	○○○○○○○
2 改姓前氏名	○○ ○○○
3 改姓後氏名	○○ ○○○

### 様式1【授業実践研究の概要】

※A4判たて、1ページ程度

※文字10.5ポイント・明朝体、45文字40行、周囲余白2cm、外枠はつけない

平成30年度 2年目研修 授業実践研究の概要

勤務校 \_\_\_\_\_ 職名・氏名 \_\_\_\_\_

- 1 テーマ
- 2 テーマ設定の理由（先行研究や昨年度の振り返りの中で）
- 3 研修を進める上での工夫・配慮

### 様式2【授業実践研究の（中間まとめ・まとめ）】

※A4判たて、中間まとめは3ページ程度、まとめは5ページ程度（表裏両面印刷）

※文字10.5ポイント・明朝体、45文字40行、周囲余白2cm、外枠はつけない

平成30年度 2年目研修 授業実践研究のまとめ

研究テーマ（12ポイント、センタリング）

—必要に応じてサブテーマ—

勤務校 \_\_\_\_\_ 職名・氏名 \_\_\_\_\_

- 1 テーマ設定の理由
- 2 実践内容
  - ・主体的・対話的で深い学びの視点を取り入れた授業実践を行う。
  - ・単発ではなく、年間あるいは単元を通して実践し、記録する。
  - ・その時々で考察を加え、次の実践の軌道修正をしていく。
  - ・実践の意味を捉えた小見出しを設定する。
  - ・児童・生徒の実態を時系列で追う。
  - ・つながりや関係を意識する。（授業実践がテーマであっても、生徒理解、学級経営、道徳、学校組織等、総合的に解明していく。）
  - ・教師自身の学び（児童・生徒から、文献、同僚、研究会等）を具体的に記録する。
- 3 まとめ
  - ・1年間の実践を総合的に振り返る。
  - ・ターニングポイントとなったことは丁寧に解説する。
  - ・自身の次年度以降の課題を明確にする。

【引用・参考文献】

様式 3 【通信型研修受講レポート】

※A 4 判たて、1 ページ程度

※文字 10.5 ポイント・明朝体、45 文字 40 行、周囲余白 2 cm、外枠はつけない

平成 30 年度 2 年目研修 通信型研修受講レポート

勤務校 \_\_\_\_\_ 職名・氏名 \_\_\_\_\_

- 1 研修期日
- 2 受講通信型研修番号・研修名
- 3 研修の概要
- 4 研修で学んだこと・感じたこと

様式 4 【ボランティア活動計画書】

平成 30 年度 2 年目研修 ボランティア活動計画書

勤務校 \_\_\_\_\_ 校長名 \_\_\_\_\_ 印

職 名 \_\_\_\_\_ 氏 名 \_\_\_\_\_ 印

活動先	名称
	〒
	住所
	電話番号
	活動先代表者 職 氏名
活動先担当者 職 氏名 印	
活動期日	
活動内容 活動時間	
備 考	

● 2年目研修提出物等一覧

提出書類等	設置区分 校 種	公立小中学校		県立・その他	
		嶺北 (右以外)	池田町・南越前町・ 嶺南	中学校・ 高等学校	特別支援学校
・欠席届(共通様式1) ・一部延期願(共通様式2) ・改姓届(共通様式3)	提出先	市町教委		研究所長	特支センター所長
	部数	2部	3部	1部	2部
	締切・備考	発生都度			
・授業実践研究の概要(案) (様式1)	締切・備考	4/24(火)・25(水)の2年目研修では、8部持参する			
・クロスセッション希望日	提出先	E-mail:wakate2@fec.fukui-c.ed.jp *件名(標題)に、勤務校と氏名を入れる			
	締切・備考	5/18(金)*第2希望までの「希望日と実施会場」を書く			
・授業実践研究の概要 (様式1)	提出先	研究所長			特支センター所長
	部数	1部			1部
	締切・備考	5/18(金)*4/24(火)・25(水)の2年目研修を経て、概要をまとめる			
・授業実践研究の中間まとめ (様式2)	提出先	研究所長			別途指示
	部数	2部			
	締切・備考	8/24(金)*9月の研修と、11月のクロスセッションでは、8部持参する(実践や省察を適宜書き加えて持参することが望ましい)			
・授業実践研究のまとめ (様式2)	提出先	研究所長			別途指示
	部数	1部			
	締切・備考	2/1(金)*クロスセッションでの学びや、その後の実践も含めてまとめたものを提出する			
・押印簿(手引き p.29)	提出先	市町教委		研究所長	特支センター所長
	部数	コピー2部	コピー3部	コピー1部	コピー2部
	締切・備考	3/1(金)		3/8(金)	3/1(金)
・校外研修の記録・報告書 2年目研修用(手引き p.27)	提出先	市町教委		研究所長	特支センター所長
	部数	コピー2部	コピー3部	コピー1部	コピー2部
	締切・備考	3/1(金)		3/8(金)	3/1(金)
・通信型研修受講レポート (様式3)	提出先	9月20日(木)・21(金)の研修受付で、封筒に入れずに提出する			
	部数	1部			
	締切・備考	・G103 アクティブ・ラーニング【入門編】……………9/20(木)・21(金)			
・ボランティア活動計画書 (様式4)	提出先	研究所長			
	部数	1部			
	締切・備考	*計画書完成後、直ちに提出する			
・異動の場合	連絡先	異動が公表されたら直ちに(3月中)研究所2年目研修担当へ電話で報告する			